

平成26年度第1回資産運用評価委員会 議事要旨

1. 日時 平成26年6月26日(木) 14:00~15:40
2. 場所 勤労者退職金共済機構 19階役員会議室
3. 出席者 奥村委員、村山委員、吉國委員、米澤委員、(小粥委員欠席)
4. 議事要旨

(1) 平成24年度評価報告書における指摘事項対応状況の報告について(資料1)

[主な意見等]

○累積欠損金の解消目標額について質問があった。

(2) 平成25年度資産運用結果報告について

各事業本部の資産運用結果について以下の順で報告がなされた。

(中退共本部、建退共本部給付経理・特別給付経理、清退共本部給付経理・特別給付経理、林退共本部)

[主な意見等]

中退共(資料3)

○中退共資産の運用ガイドラインに定める外国債券の格付け制限について質問があった。

○委託運用における外国株式アクティブ運用の超過収益率が高かった要因について質問があった。

建退共(資料4)、清退共(資料5)、林退共(資料6)

○建退共の退職給付金等の支払い財源は保有資産の取り崩しを行わず、短期資産の範囲内で行われているのか質問があった。

○債券の評価について、満期保有債券は償却原価法で評価しているのか質問があった。

○清退共の基本ポートフォリオの変更について情報開示の対象となっているか質問があった。

○清退共の国内株式の超過収益率が高い理由について分析できているのか質問があった。

○林退共における累積欠損金解消計画の進捗状況について質問があった。

○林退共において加入者数が減少することで財務に影響があるのか質問があった。

○林退共における累積欠損金解消計画の見直しがあるのか質問があった。

【全体について】

○各本部におけるALM委員会の開催条件について質問があった。

【今後の予定について】

○次回7月11日の第2回委員会においては、本日の審議を踏まえた「運用の目標等の部分に関する評価報告書(案)」を事務局で用意し、それについて審議することとされた。

以上